

○年○月○日。井戸の水質悪化。病人発生。水質検査の依頼激増で保健所悲鳴。

○年○月○日。水道新規加入断る。

井戸が枯れた人達が水道の加入に殺倒。しかし水道事務所はその余力がないので断る。

○年○月○日。中性洗剤への非難高まる。富栄養化の原因物質であるリンの供給源として、中性洗剤が指摘される。

○年○月○日。地盤沈下、洪水の危険。

地下水の汲み上げにより、沖積地帯では地盤沈下が急激に起り、霞ヶ浦の水位よりも低い所が各所に出現。住宅の傾くのも現れる。洪水防止のために、早急に堤防の補強が必要となる。

○年○月○日。地下水汲み上げの規制始まるか？

際限のない井戸掘り競争や地盤沈下のために市民の間から地下水規制の原望が強く出されたが、代りの飲み水がないので規制に踏みきれず、「困ったわ、どうしたらよいの。」

○年○月○日。井戸掘りで衝突。

各地で井戸掘りをめぐって住民の間で衝突が起る。

○年○月○日。工業用水にも不適、巨額の浄化費。遂に工業用水にも不適となり、巨額の経費をかけて高性能

の浄化施設を作ることになる。水質悪化のために新設に二の足を踏む企業も出る。

○年○月○日。知事、利根川に援軍求む。

霞ヶ浦の汚濁を救うために利根川からの恒常的導水を要望したが、東京都へ引くだけで手一杯であると拒否される。世論も、自分で汚しておいて今更なにをいうか、と冷淡

「下流で他の県が使っている琵琶湖とは違うのだから。霞ヶ浦は良きにつけ悪しきにつけ私たちのものなんだわ。」

○年○月○日。那珂川からの導水プラン失敗。

同地区の農民、市民の猛反対で実施できず。

○年○月○日。排水基準大改正か？

N・Pもやっと規制へ。甘かった排水基準の是正と富栄養化の原因とみられていたN・Pの規制が事務レベルで検討始まる。「おそすぎたわ。」

○年○月○日。中性洗剤の使用禁止か。

Pの大きな供給源である中性洗剤の霞ヶ浦周辺での禁止が検討される。

○年○月○日。公害Qメン大増員の予算提出。

排水監視のための公害Qメンの増員要求。

○年○月○日。汚濁防止の凡ゆる方策検討。

ヘドロ除去など全ての妙案、名案の検討が始まる。